

高丘河内連の歌二首

一〇三八番

故郷は 遠くもあらず 一重山 越ゆるがからに  
思ひそ我がせし

一〇三九番

我が背子と 二人し居らば 山高み 里には月は  
照らずともよし

安積親王の、左少弁藤原八束朝臣の家に宴す  
る日に、内舍人大伴宿禰家持の作る歌一首

一〇四〇番

ひさかたの 雨は降りしけ 思ふ児が やどに  
今夜は 明かして行かむ